

事例・介護研究 発表会 アンケート結果

研修日時：平成29年8月6日（日）10：30～16：00

会場：山口県セミナーパーク 社会福祉研修室

参加人数： アンケート回収数：35名

1. あなたの職種は何ですか（複数回答あり）

介護福祉士 28名 介護職員（介護福祉士以外）2名 介護支援専門員2名
生活相談員 1名 ホームヘルパー 3名 看護師 0名 セラピスト0名
相談支援専門員 0名 福祉系職員 2名 学生 0名 その他 0名

2. あなたの所属先に該当するものは何ですか

特別養護老人施設 11名 老人保健施設 3名 居宅介護事業所 2名
老人通所介護 2名 介護療養型医療施設 1名 障害者施設 2名
小規模多機能 0名 病院 5名 行政 0名 養成校・大学など2名
その他 6名（有料老人ホーム3名 グループホーム2名 不明1名）無記入1名

3. 本日の発表を聞いての感想は

①大変参考になった：17名 ②参考になった：18名
③あまり参考にならなかった：0名 ④全く参考にならなかった：0名

☆参考になったと思われる点

- ・助言者のアドバイスから今後どうしたらよいのかを知ることができた : 3名
- ・矢原先生の講評が今後の研究を行う上で参考になった : 2名
- ・矢原先生の講評は発表原稿に取り組む視点や今後の課題を具体的に示されてわかりやすかった
- ・発表後の質問や講師の方の評価の内容が今後の研究の勉強になった
- ・研究の視点 : 2名
- ・実践的な内容
- ・事例を組み立てるポイント
- ・現場での実践を知ることができた
- ・排便コントロールが参考になった
- ・排便コントロールのオリゴ糖は自施設でも検討したいと思った
- ・認知症の事例や対応策は取り入れたい点があった
- ・発言、行動の背景に何があるのか、という追求が必要だと再認識した
- ・在宅生活を目指した取り組みが勉強になった、そんな支援をしていきたいと思った

4. 発表を聞いて自分自身も事例や介護研究に取り組んでみたいと思いましたか？

①ぜひ、取り組みたい：5名 ②機会があれば取り組みたい：17名
③取り組みたいがやり方がよくわからない：6名
④面倒だからやりたくない：5名（大変そう、業務内での研究は困難で負担が大きい）
無記名：3名（複数回答あり）

☆取り組みたいと思われた方は、どんな内容をやってみたいですか？

- ・ニーズを反映して尊厳を取り戻せる支援について、支援の在り方について
- ・現在、排便コントロールの研究をしているので研究後の結果が楽しみ
- ・排泄のケアについて、トイレでの排泄を促す取り組み
- ・ADL面の支援について
- ・施設での看取りについて
- ・BPSD、個別の関わりについて
- ・ケース記録を詳細に残すために施設で改善できる取り組みについて
- ・県介護福祉士会 会員の介護研究に対する取り組みの現状、入会率向上の促進要因、阻害要因

5. 発表の進め方について

①大変良かった：10名 ②良かった：18名

③普通：5名 (AMはゆったりで、PMはぎりぎりになった印象)

④あまり良くなかった：1名

⑤良くなかった：0名 無記入：1名

- ・矢原先生の適切な助言、講評は良くわかった : 2名
- ・先生方の補足説明やアドバイスがとても分かりやすく発表内容がより分かりやすくなった
- ・発表の中の資料が参考になるものがあった
- ・メモ欄や余白があるのは便利だったので今後もあると良い
- ・発表後、質問の時間がどれくらいとってあるのか分かれば質問しやすいと思った
- ・発表事例が少なければ早めに終わってもよいのでは？
- ・発表者の服装は統一した方が良い
- ・発表の持ち時間について途中で打ち切るのか、そうではないのか共通認識が必要ではないか？
- ・総評にもあったが内容、結論、課題が不透明に感じた
- ・講師の先生方の名前や略歴などを載せてほしかった

- ・講師のコメントで少し論点がずれているのでは？と感じるものがあった
- ・コメントの中に、日々のケアの非難や欠点の指摘を言われているように思い、介護研究を発表する意欲が低下した
- ・統計だったコメントを聞いた後、論点のずれた？コメントを聞くと迷ってしまう
- ・発表する側は自分たちの発表がどうだったかを知りたい。コメントの中に理解しにくい内容があった。
- ・講師のコメントが長すぎると感じた

6. その他

- ・冷房が少し寒かった